

泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校

第2号 H18.6.23
編集: SSH推進室
発行所: 上田 政憲

特別講演会



今年の特別講演会は金沢市で開催されている『宇宙技術および科学の国際シンポジウム(略称 ISTS:International Symposium on Space Technology and Science)』の関連事業として開催されました。I S T Sは日本を代表する宇宙飛行士や海外の宇宙飛行士たちが集う国際的なシンポジウムです。

本校では、6月6日(火)に、Dr. Patrick Q. Collins(パトリック コリンズ氏)を講師にお迎えし、「The Importance of Space Tourism(宇宙旅行の重要性)」と題した講演会を実施しました。宇宙技術に関する講演会が続き、文系の生徒から不満の声も聞こえていた特別講演会ですが、今年度は経済学的な分野も含んだ宇宙旅行に関する講演会となったため、文系の生徒たちも楽しめたようです。また、外国人講師による講演会で、半分以上が英語による講演だったため、日ごろ鍛えた英語力を試そうと真剣な眼差しで聞き入っていました。



Dr. Patrick Q. Collins, who gave us a lecture, has a homepage on Space Tourism.
Why don't you try to visit the site?

宇宙旅行ポータルサイト www.uchumirai.com
準軌道宇宙旅行 宇宙丸プロジェクト www.uchumaru.com

生徒の声

今回講演を聞いて、学問があらゆる分野につながっていることが感じられた。経済学の視点から宇宙を見たときにもたらされる利益が世界規模にわたるように、自分の勉強していることが様々な場面で生かされることがあるのだと思った。だからこれから勉強していく上で、一つ一つのことを別々に考えるのではなく、関連するものを一つにつなげて捉えることを意識できるようになりたいと思った。また、一見自分が興味を持ってそうに無いことであっても、考え方を変えれば面白く感じられるようになることが分かった。専門的知識というも時には大切かもしれないが、広い視野で世界を見ることの出来る人間が現代では要求されていると思うし、またそういう人の方が楽しく人生をおくれるだろう。講演によって、目指したい人間像や考え方を得られて、とてもためになった。(3年S.U)

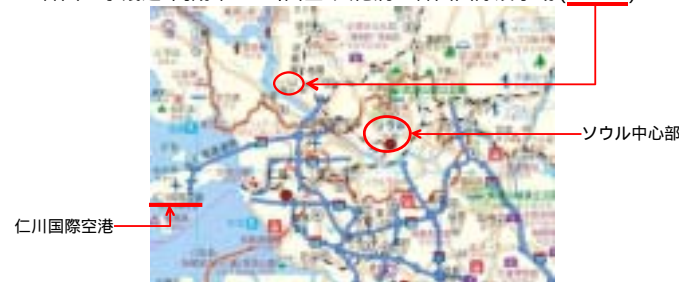
実現すれば三度目の進出ということになるだろうか。今や人間は海中でも空中でも悠々と行動している。宇宙旅行などという大それた話もう夢ではないのかもしれない。

宇宙には海や空とは全く違う点がある。「無い」のである。私達の普段の生活では、宇宙に触れたり、宇宙を感じたりすることはまずない。海や空は「有る」。私達は海を眺め、空を見上げる。魚を見て自由に泳ぎたいと思い、鳥を見て自由に飛びたいと思う。日常生活で宇宙を浮遊したいと思うことはまず無い。そんな場所を旅行と言われて、最初は呆気にとられた。実感として、宇宙など無いも同然のものだからだ。なぜそんなことをするのかという思いにとらわれた。しかし、話を聞いて感心した。宇宙は有った。未来の人類を支えるであろう大量の資源、人間が移住するに足る広大な空間、地球では体験できない無重力の魅力。本当に何も無いわけではない。私の偏見は宇宙から様々なものを取り去っていた。宇宙にホテルを建設する計画は40年前からあった。それほど昔から宇宙の価値は見出されていたのだ。一見「無」であるものから「有」を見出す。自然科学の躍進には常にそれが伴っていると思う。それには、多面的な見方、客観的な見方が必要とされる。自分にはそれが欠けていた。そういうことを気付かせてくれるとともに、内容的にもとても興味深い講演だった。(2年I.K)

韓国サイエンスフェスティバルについて

S S H 研究開発により培った科学的能力や語学力の成果を発表し、国際交流を進めるため、「Korea Science Festival 2006」に参加します。1年理科数及び2年理科数を中心に参加募集をしたところ、40名の参加申込がありました。韓国サイエンスフェスティバルの会期は5日間ですが、日程等の都合により生徒たちは4日間だけ参加できます。日程等は下記の通りとなっています。

- (1)大会名 韓国サイエンスフェスティバル2006「Korea Science Festival 2006」
(2)場 所 韓国 京畿道 高陽市 一山西区 大化洞 韓国国際展示場(KINTEX)



(3)日 程

	総 括	A 隊	B 隊
8月 9日(水)	富山空港より出発		
8月10日(木)	韓国サイエンスフェスティバル準備		
8月11日(金)	韓国サイエンスフェスティバル研修	小松空港より出発	
8月12日(土)	韓国サイエンスフェスティバル研修	韓国サイエンスフェスティバル研修	
8月13日(日)	韓国サイエンスフェスティバル研修	韓国サイエンスフェスティバル研修	富山空港より出発
8月14日(月)	韓国サイエンスフェスティバル研修	小松空港へ帰国	韓国サイエンスフェスティバル研修
8月15日(火)	韓国サイエンスフェスティバル研修		韓国サイエンスフェスティバル研修
8月16日(水)	富山空港へ帰国		富山空港へ帰国

A Iプロジェクト研究日程

A Iプロジェクトの今年度の日程が決まりました。

【中間発表会】 7月22日(土)

各班の研究内容を英語によるポスターセッションで発表します。当日はアメリカから来日している高校生に参加してもらい、自分たちがどんな研究をしているか英語で説明し、理解してもらうことにしています。

【発表会】 11月20日(月)

各班が8ヶ月かけて研究してきた内容をパワーポイントを用いて発表します。3校合同課題研究発表会の選考会も兼ねています。

【研究発表会】 12月18日(月)

本校のS S H研究発表会として、ポスターセッション形式で行います。県内のA L Tの協力も得て英語による発表も計画しています。

【3校合同課題研究発表会】 12月19日(火)

金沢市文化ホール(高岡町)で行います。日程等詳細は分かり次第ご連絡いたします。

【あとがき】5年延長の課題である国際交流事業の計画が順調に進んでいます。J S Tへの予算要求も済み業者選定の決定連絡を待っているところです。理科や数学の発表内容も決まり、出発までの短い時間で準備を進め、研修会も開催する予定です。今年の夏も忙しい日々になりそうかな……!?